

さくら便り

第16号 社会福祉法人 真寿会

〒321-2332 栃木県日光市大室863-7

TEL0288-26-4141 FAX0288-32-1233

URL <http://oomurosakuraen.jp/>

特集

傾聴ボランティア“ありのまま”

さくら苑に毎週水曜来苑していただいている傾聴ボランティアの“ありのまま”の皆様。利用者様からのお話をただひたすら聴いていただき、心を癒していただいております。その都度職員も関われないので話しだけをじっくり聞いていただける“ありのまま”の皆様の存在は貴重です。これからもご支援お願いします。

★実際活動されている寺田ミドリ様より
感想をいただきました。★

傾聴ボランティア“ありのまま”で活動させていただいてからもうすぐ1年になります。

利用者さんはゆっくりと話をして下さる方、充実していた頃の話をして下さる方、辛かった時の話をして下さる方、会話が進むと少しずつですが顔の表情が変



わり、目がいきいきとして笑いが出てきます。自分の世界に入ってしまった方、その世界に入れていただきます。会話を忘れてしまった方、そっと手を重ね目と目で心が通いあったような笑顔をいただきます。いつも笑顔の方、その笑顔の裏の苦勞を垣間見た時抱きしめていました。時には1つのテーブルを大勢で囲み歌を唄って私たちも楽しんでます。傾聴させていただき癒されています。そしてこの活動を温かく受け止めて下さる職員の皆様にご感謝しております。



私たち傾聴ボランティアは相手の方のみにできるだけ多く話をしてもらい、そのことによって、その方の心の負担が少しでも軽くなるようにお手伝いさせていただいております。

相手の方のお話をありのまま(素直)に、謙虚にあたたかく聴く、そして積極的に能動的に聴くということが傾聴ということです。

日光市では

- ・日光市民活動支援センター
- ・日光市社会福祉協議会
- ・ボランティア教育推進センターに登録・加盟しています。

傾聴ボランティアチーム
“ありのまま”
黒川 貢 代表



年越しそば

昨年12月26日に毎年恒例となっているそば打ちが、施設長をはじめ職員によって開催されました。その日のメニューはそばに合わせて天ぷらが提供され、さくら苑の利用者様や職員に振る舞われ、一足早い年越しそばを堪能しました。



ソフト食始めました。

さくら苑ではミキサー食もたべられない方にソフト食(ミキサー食のゼリー状のもの)の提供を始めました。主菜と煮物のみですが、以前に比べてスムーズに食べられるようになりました。



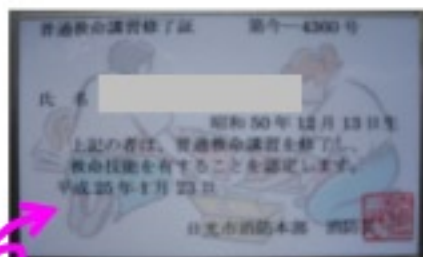
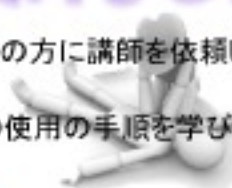
いつもありがとうございます。



もみの木
H25.3.23楽苑

救命講習を受けました。

1月23日、私たち職員は日光市消防署の方に講師を依頼し、救命講習を受けました。心肺蘇生(胸骨圧迫、人工呼吸)、AEDの使用の手順を学びました。



今回、普通救命講習修了証をいただきました。

お花見弁当

4月19日にお花見弁当をさくら苑の利用者様が食されました。

メニューは

- ・山菜ごはん
- ・ミートローフ
- ・舌平目のタルタル焼き

- ・炊き合わせ(ゆば)
- ・かぼちゃサラダ
- ・厚焼き玉子
- ・香の物
- ・フルーツ(いちご)です。



編集後記

今まで大室さくら苑の広報委員は2名で活動していましたが、最近新しいメンバーが入りましたのでみなさまにご紹介いたします。

仲田伸一(なかたのぶかず)と申します。所属はデイサービスです。

写真は去年のクリスマス会のものですが、今年は腹話術にチャレンジしようと思っています。これから宜しくお願いします。

